

「事業所自己評価・ミーティング様式」

実施日 令和7年2月28日 (13:30~14:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 塚田、足立、大西、梶、渡辺、山田、本田、濱田、増田、清川、角、陰山、中田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		13			13

前回の改善計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・初期支援のための情報伝達、情報共有をケース記録や申し送りを活用しスタッフが情報収集しやすいようにする ・直接ご家族へ利用時の状況や様子を伝える連絡ノートの活用 (会えない場合やご家族と同居でない場合は、電話をする)。 	
前回の改善計画に対する取組み結果	「できている」13人/13人:100%
<ul style="list-style-type: none"> ・初期支援のための情報の伝達、情報共有をケース記録や申し送りを活用して情報収集ができた。 ・送迎時に直接、又は連絡ノートを活用し、利用時の状況や様子を伝えることができたが、家族が遠方の方への連絡はケアマネージャーに頼る傾向があった。 	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		11	2		
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	11	1		
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	11			
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	12			

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・カルテ記録と、担当者会議記録から情報を確認することが習慣化できている。 ・情報収集で得た情報をもとに、本人の興味のあることや生活歴などの話題でコミュニケーションをとるよう心掛けている。 ・利用状況をみながら、少しずつ慣れて頂けるよう、関わり方や配席などに配慮している。 ・初回利用当日にケアマネージャーがミーティングで情報を発信している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議に参加した職員は事前に情報共有し、支援の方向性を検討したり、確認事項を明確にできているが、利用開始前のミーティングが習慣化していない。 ・現場職員は、送迎時や訪問時に不在の家族とは関わる機会が少なく、関係性が築きにくい。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前のミーティングを習慣化する (利用開始3日前までに開催) ・利用開始2週間以内に、担当介護職員が挨拶と利用時の様子を報告する。(送迎時、訪問時、電話)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年2月28日(13:30~14:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 埜田、足立、大西、柝、渡辺、山田、本田、濱田、増田、清川、角、陰山、中田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		12	1		13

前回の改善計画					
①初回個別援助計画立案の為のカンファレンスの実践を強化する。 ②自ら発信が困難な利用者は、家族と相談しながら本人にあった支援を行う。					
前回の改善計画に対する取組み結果		「できている」12人/13人：92%			
・カンファレンスは実施できたが、利用開始後に実施することもあり、タイミングにずれがあった。 ・家族と相談しながら支援を行ったが、家族の意向や推測で介入となった					

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		11	2		13人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7	6		13人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		7	6		13人
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		12	1		13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・居宅サービス計画書、アセスメントや本人、家族の意向をもとにゴールは把握している ・日常のコミュニケーションや家族からの情報により「～したい、～食べたい」の意向を知り、他職種が連携した支援ができご本人の満足度向上につながった。 ・	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・認知症や障害により自分の意思を表現できない方は家族や職員目線での目標設定や、推測での介入になってしまうことがある。 ・日常的な支援に追われ、目標達成にむけた個別の取組みができていないことがある。 ・	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・本人の言葉だけではなく、表情や仕草から本人の思いがくみ取れるための、個別の関わりの時間を作る ・個別援助計画を利用当日のミーティングで発信し、職員が同じ目標に向かって支援できるようになる	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年2月28日 (13:30~14:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 塚田、足立、大西、柄、渡辺、山田、本田、濱田、増田、清川、角、陰山、中田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		12	1		13

前回の改善計画	「できている」12人/13人：92%
<p>①過去の生活や在宅での様子、本人や家族からの聞き取った内容を記録に残し共有する。</p> <p>②朝礼やミニカンファレンスにて、本人の行動や様子をアセスメントした「思い（思われることも含む）」を共有する。</p> <p>③利用者の生活の中で、出来る事と出来ない事を見直し、家族にも伝えることで、スタッフと家族の認識をすり合わせていく。</p>	
前回の改善計画に対する取組み結果	「できている」12人/13人：92%
<ul style="list-style-type: none"> 本人や家族から以前の生活の情報収集ができた際は、記録に残し、情報共有はできたが、「生活歴シート」への追加の記入ができなかった。 状態に変化があった時にはできる事、出来ない事を見直し、家族への情報提供が出来たが、日常的にはできなかった。 	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		6	7		13人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	7	1		13人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		6	7		13人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	7	2		13人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	9	2		13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の発言、様子、気づきは記録や他職種で情報共有できた 本人の状況にあわせた食事（刻む、ワンプレーと食器、自助食器等）や排泄支援ができた。 体調の変化があった際は直ぐに他職種で情報共有し、必要時に家族や医療機関と連携をとり対応できた 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 担当ご利用者以外は特に「以前の暮らし方」が10個以上の把握ができていない 生活歴シートの情報収集量に違いがあり、情報量の少ない方の生活環境を理解することが難しかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 日常の会話の中で知りえた以前の暮らし、思い等を「以前の暮らし方、生活歴シート」に追加記入していき、記録、ミーティングで発信し情報を共有する。 以前の暮らしを知る意識が希薄なため、担当者の中で1月毎に重点的に利用者を決め情報収集をし、「以前の暮らし方、生活シート」に追加記入する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年2月28日(13:30~14:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 埜田、足立、大西、栃、渡辺、山田、本田、濱田、増田、清川、角、陰山、中田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		1	12		

前回の改善計画	①全利用者の生活歴シートのコピーを一括ファイリングする ②地域行事や活動内容の把握
前回の改善計画に対する取組み結果	「できている」1人/13人:7.6%
生活歴シートコピーを一括でファイリングができなかった 地域の行事や活動内容は特定の職員のみしか把握できなかった	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		9	4		13人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		12	1		13人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		11	2		13人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		5	5	2	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 生活歴シートを活用し情報収集し、生活スタイル、人間関係を理解した支援ができ、その後もモニタリング等で本人、家族より情報収集をしている 訪問、送迎時に自宅での様子を確認している 独居、高齢者世帯利用者を把握し、必要に応じて地域包括センターとの連携を図っている。 <p style="text-align: right;">など</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 現場職員は、独居の方の家族や家族以外と関わる機会が少なく、独居の方のサービス利用時以外の過ごし方の把握ができていない。 元々ある地域の資源を活用はしているが、新たな資源の導入には至っていない。 地域資源についての知識、理解が乏しい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 全利用者の生活歴シートのコピーを一括でファイリングする。 緊急時連絡一覧表に担当民生委員を記載する。 米子市インフォーマルサービス一覧を掲示し職員へ周知する。 地域資源について研修会を開催する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年2月28日(13:30~14:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 埜田、足立、大西、栃、渡辺、山田、本田、濱田、増田、清川、角、陰山、中田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2	8	3		

前回の改善計画	「できている」10人/13人：77%
<p>①地域資源とは何かをスタッフ全員が理解できるようにし(勉強会)、看護小規模多機能事業所として、地域資源を活用法などを学習する。</p> <p>②本人・家族から聞き取った内容を申し送る、記録(ケース、申し送り)に残し情報共有する。</p> <p>③各種ミーティング時(朝礼・ミニカンファレンス・職場会)に本人の状態やニーズ、変化、気づきを発信し共有する。</p>	
前回の改善計画に対する取組み結果	「できている」10人/13人：77%
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源についての研修会が開催できず、知識の習得や理解に至らなかった。 ・本人の状態やニーズ、変化、気づきは記録、情報収集は出来たが、ミーティングでの共有はできなかった。 	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		11	2		13人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	9	1		13人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	7	4	1	1	13人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	9		1	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族の状態や状況、天候などに応じて 他事業所と連携を図りサービスの意向や導入ができた。(退院後に在宅生活に不安がある際は宿泊利用から始め、家族と連携しながら支援) ・本人や家族の体調に応じてサービスを調整し、受診同行や、感染時対応等の柔軟な対応、支援ができた ・地域資源を活用(配食サービス、ごみ捨て支援)した支援ができた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに応じて通い、訪問、宿泊の調整を行っているが、通い、宿泊については定員があるため調整がつかないことがある。 ・地域資源に関しての知識、理解が乏しい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源について研修会を開催し、地域資源について知る。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年2月28日 (13:30~14:30)

6. 連携・協働

メンバー 塚田、足立、大西、柄、渡辺、山田、本田、濱田、増田、清川、角、陰山、中田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		7	5	1	13

前回の改善計画	①運営推進会議や他職種連携会議など職員の参加できるよう調整する。 ②各種会議の内容(資料及び議事録)を全職員で共有する。 ③自治会の回覧板などから、地域の活動やイベントを把握する。
前回の改善計画に対する取組み結果	「できている」7人/13人:54% ・運営会議や他職種連携会議に職員の参加ができた。(勤務作成時に調整) ・各種会議の内容はミーティングでの伝達や、資料、議事録で共有できた。 ・地域の活動やイベントの情報収集不足で、事業所として地域、行事のイベント参加数が少なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	6	6	1		13人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	2	3	6	13人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		2	5	6	13人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		4	8	1	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・サービス機関(医療機関、福祉用具、施設、地域包括支援センター、薬局等)と必要に応じて担当者会議を開催し、各専門職が参加している。 ・運営推進会議、居宅連絡会、地域ケア会議等へ定期的に参加している。 ・和田小学校や地域の方と一緒に「餅つき大会」や「綿作り」に参加し交流を図った。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・自治会の回覧板はきているが、職員間で情報共有がなく、活動、イベントの開催情報を把握できなかったため、参加が少なかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・運営推進会議には管理者と職員1名が参加し、地域の方の意見を聞き交流を持つ。 ・管理者が回覧板を確認し、地域の活動、イベント情報を把握し、参加調整をする。 ・毎月公民館を訪問し(広報活動兼ねる)顔の見える繋がりをもち連携に繋げる。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年2月28日(13:30~14:30)

7. 運営

メンバー 塚田、足立、大西、梶、渡辺、山田、本田、濱田、増田、清川、角、陰山、中田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		9		4	13

前回の改善計画	
① 地域の活動やイベントの情報収集、参加に至る仕組み(流れやフロー)を作る。 ② 事業所の職員及びご利用者と共に、(和田保育園、和田小学校だけでなく)地域と協働した取り組みを行なう。	
前回の改善計画に対する取組み結果	「できている」9人/13人:69%
・地域活動、イベント参加のフローは作成できなかったため、地域活動やイベントの情報把握が充分できず(担当者も明確になっていない)参加があまりできなかった。 ・地域活動やイベントへの参加が少なかったため、十分な関係性が築けていない。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	1	10	1	1	13人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10		1	13人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	9	1	2	13人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		5	5	3	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・苦情報告書はファイリングし、内容、改善策等を職員間で共有し対応できている。 ・ミーティング等で意見の言い易い場がある。 ・	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域交流が少なく、事業所として地域と協働した取り組みの実績が少ない。 ・地域との関わりの重要性意識が希薄。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・消防訓練地域日時を公表し、推進会議出席者の参加をお願いする。 ・運営推進会議には管理者と職員1名が参加し、地域の方の意見を聞き交流を持つ。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年2月28日 (13:30~14:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 塚田、足立、大西、梶、渡辺、山田、本田、濱田、増田、清川、角、陰山、中田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		8	2	3	13

前回の改善計画 「できている」 8人/13人：61%

- ①地域連絡会（小規模多機能連絡会など）に現場の職員も可能な限り参加する。参加できなければ、会の内容を議事録や資料から収集する。
- ②ヒヤリハット報告書を職員一人当たり2ヶ月に1枚以上提出する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・小規模多機能連絡会に参加できたが、ケアマネジャーのみの参加で、業務の都合上、その他の職員は参加が出来なかった。
- ・ヒヤリハット報告書の提出が目標値の提出ができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	5	6	2		13人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	4	6		13人
③	地域連絡会に参加していますか	1	2	2	8	13人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		10	2	1	13人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・職場内外の研修、事業所内で参加が必須な研修も確実な参加ができた。
- 地域連絡会への参加が出来、議事録や資料等で情報共有ができた。
- ・離脱、転倒リスク者は配席を考慮し、見守りを強化し、誤嚥、窒息リスク者は配膳時に色別カードを置き、全職員がリスクを把握し支援ができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ヒヤリハット報告書の提出が目標値の提出ができなかった。
- ・ヒヤリハットに気づきにくく、気づいても日常の業務で業務時間が過ぎてしまい報告書の作成ができない。」
- ・事故、ヒヤリハット報告書を全職員が確認する意識が低く、周知できていない。
- ・業務の都合上、現場職員が地域連絡会に参加ができなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・地域連絡会に可能な限り現場職員も参加する。
- ・ヒヤリハット報告書を職員一人当たり2ヶ月に1枚以上提出する（リスクマネジメント委員が管理し提出を啓発する）
- ・年に1回以上は全職員が職場内外の研修に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年2月28日(13:30~14:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 塚田、足立、大西、梶、渡辺、山田、本田、濱田、増田、清川、角、陰山、中田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	9		3	13

前回の改善計画	「できている」10人/13人：77%
・スピーチロックがあった場合はその場で注意し合う ・フロアでの職員間のやり取りは距離を縮め、小声でやりとりする等工夫してプライバシー保護に努める。 ・成年後見人制度について研修会を開催する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	・業務が多忙になるとスピーチロックが起きてしまいことがあったが、職員間で注意し合えないこともあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	11	2			13人
②	虐待は行われていない	12	1			13人
③	プライバシーが守られている	3	9	1		13人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	10	1	1	13人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	9	1		13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待はなく、身体拘束ゼロ継続のための定期的な倫理カンファレンスの開催ができた トイレ使用中は「使用中」を知らせるプレートを使用し、ケアの際は個室の扉を閉めプライバシーの保護ができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見人制度が必要と思われる方のリストアップができていない。 ・成年後見人制度についての知識や理解が低い。 ・フロアを職員1人で対応する際は、ご利用者に待っていただくことがあり、スピーチロックがおきている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・成年後見人制度について研修会を実施し、制度を理解する。 ・フロアを1人で対応する時間帯は他職種で連携し対応する。	